宮城県道路交通環境安全推進連絡会議　資料１

過年度事業完了に伴う整備効果検証について

令和8年7月24日

過年度事業完了箇所における整備効果検証結果

(1)概要

●過年度事業完了箇所のうち、代表的な下記3事業について、整備効果検証結果を報告する。

▼過年度事業完了箇所

No.	市町村名	箇所名	対策実施期間	対策内容
①	栗原市	国道4号 さわべかんばやし 沢辺神林交差点	令和7年8月 ～ 令和8年3月	・右折レーンの設置 ・減速路面表示 (連続ドットライン) ・注意喚起路面表示(追突注意)
②	岩沼市	国道4号 ふじなみ 藤浪交差点	令和7年8月 ～ 令和8年3月	・右折レーンの設置
③	富谷市	国道4号 とみがおか 富ケ丘交差点	令和6年12月 ～ 令和7年2月	・右折指導線の強調 (青色ドットラインの追加) ・右折レーンにおける注意喚起 路面表示(対向車注意) ・注意喚起路面表示(追突注意) ・減速路面表示 (連続ドットライン) ・直進レーン・左折レーンの カラー化(赤色) ・右折レーンのカラー化(青色) ・薄層カラー舗装(横断歩道手前) ・ゼブラ舗装(隅切り部) ・ボラードの設置(横断歩道部)



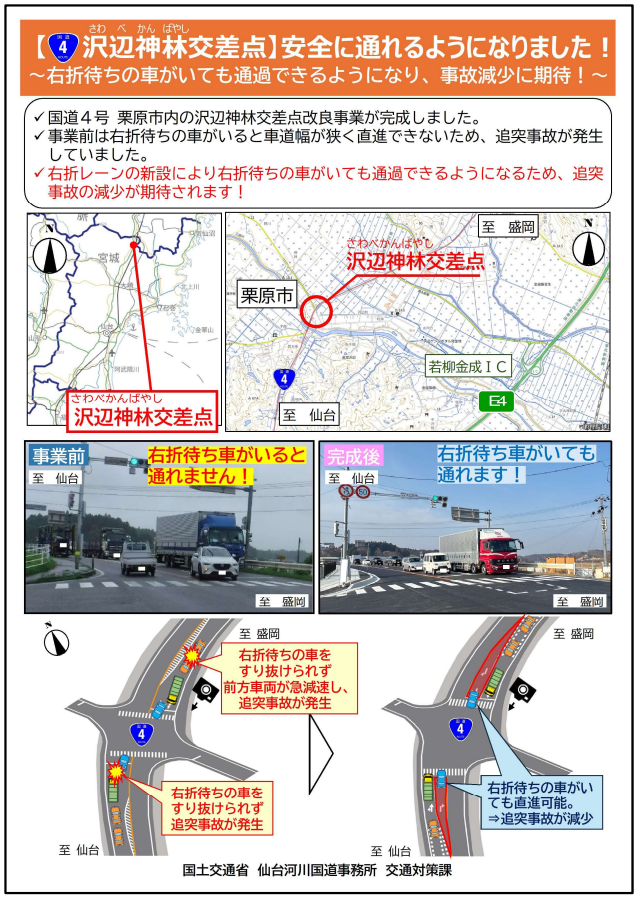
▲位置図

過年度事業完了箇所における整備効果検証結果

(2)事業完了の広報

●事業完了時に、お知らせ資料を作成。事務所HPおよびXへ掲載し、一般利用者へ周知を実施。

■お知らせ資料の作成





▲事業完了お知らせ資料

■広報(HP、X)の状況



▲事務所HP掲載状況



藤浪交差点のお知らせポストは1.8万回表示
（令和8年7月現在）

▲事務所X掲載状況

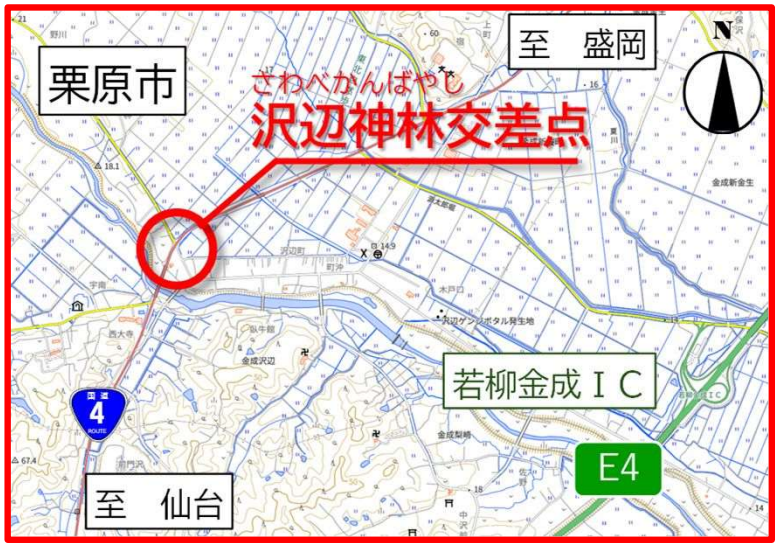
過年度事業完了箇所における整備効果検証結果

（3）整備効果検証結果

①国道4号　沢辺神林交差点

【位置図】





【整備前の課題】

右折待ちの車がいる場合に車道幅が狭く直進できないため、追突事故が発生していた。

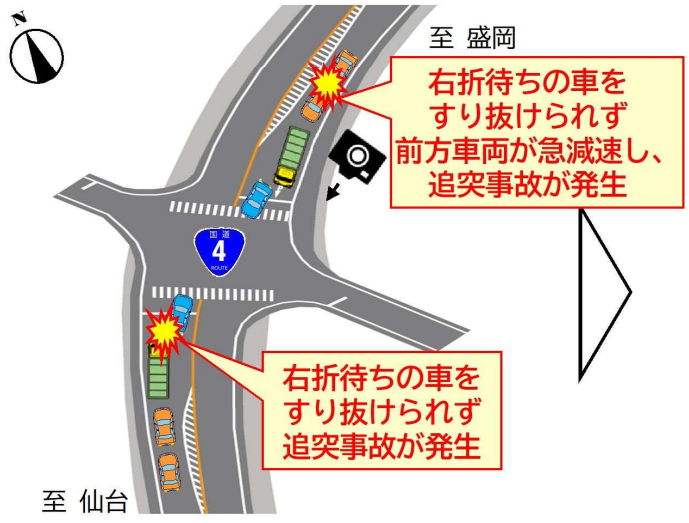
【対策内容】

右折レーン、注意喚起路面表示（追突注意）の設置

【整備前後の比較】









過年度事業完了箇所における整備効果検証結果

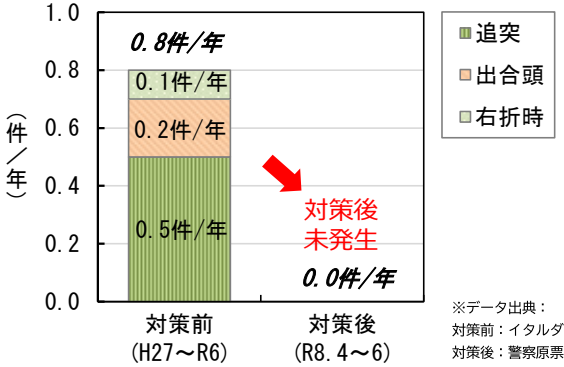
①国道4号　沢辺神林交差点

【事業の効果】①死傷事故は対策後未発生　②急ブレーキが減少　③利用者の9割が対策の有効性を実感

【効果検証】

①死傷事故件数の変化

対策実施後3か月で死傷事故は未発生



※データ出典：
対策前：イタルダデータ
対策後：警察原票
集計範囲：対策範囲
（交差点中心から起点側120m、終点側120m）

▲対策前後の事故件数の推移

②急ブレーキの発生状況

交差点流入部の急ブレーキ発生率が減少し、事故リスクが低減



※データ出典：
ETC2.0プローブデータ
※集計範囲：対策範囲
（交差点中心から起点側120m）
※集計対象前後加速度：0.3G以上

▲下り線走行車両の急ブレーキ発生率

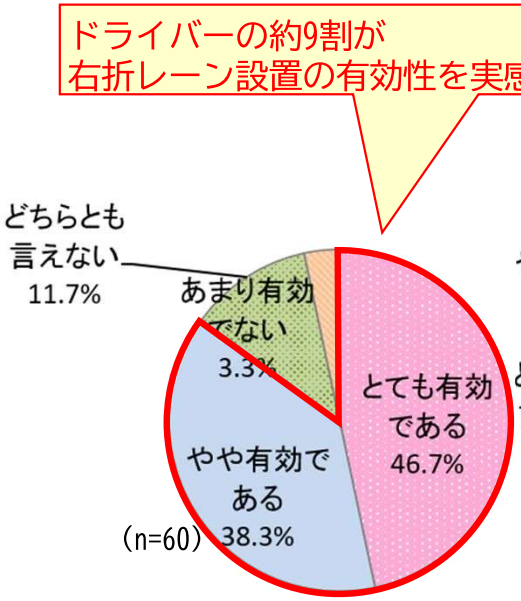


※データ出典：
ETC2.0プローブデータ
※集計範囲：対策範囲
（交差点中心から終点側120m）
※集計対象前後加速度：0.3G以上

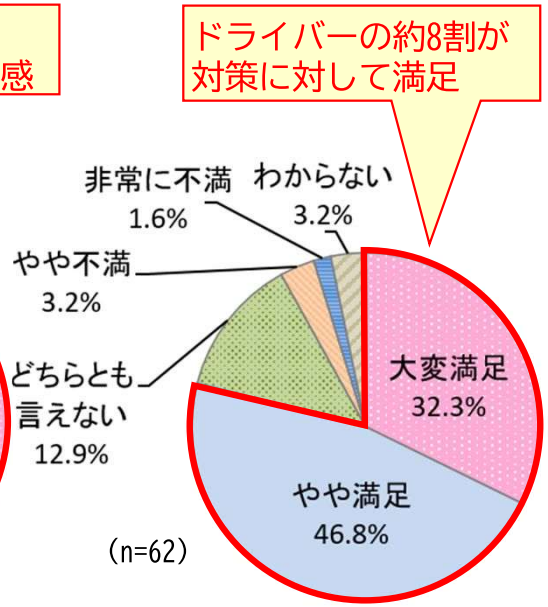
▲上り線走行車両の急ブレーキ発生率

③利用者アンケート調査

道路利用者が対策の有効性を実感。対策による高い満足度を確認



▲右折レーン設置の有効性



▲当該交差点の実施対策に対する
道路利用者の満足度

【今後の展開】

経過観察を行い、引き続き、効果の確認を行う。

過年度事業完了箇所における整備効果検証結果

②国道4号　藤浪交差点

【位置図】





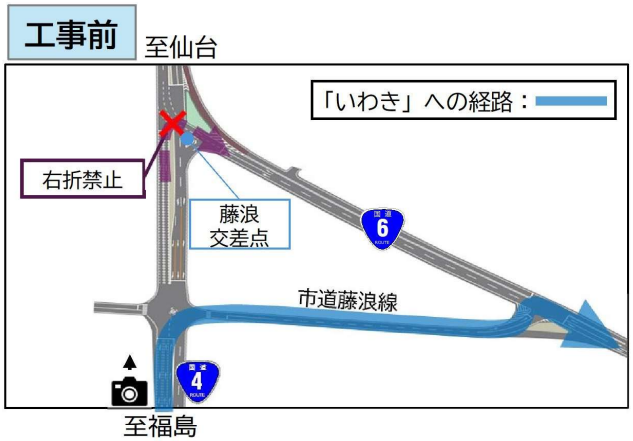
【整備前の課題】

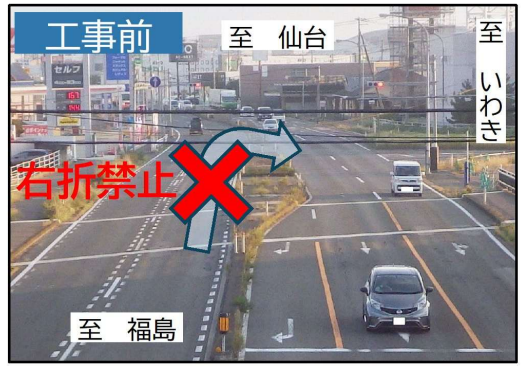
国道4号(福島方面)から国道6号(いわき方面)への走行経路は、幅員が狭小である市道藤浪線を経由するルートであったため、市道の沿道環境に影響を与えており、かつ安全性が低い状況であった。

【対策内容】

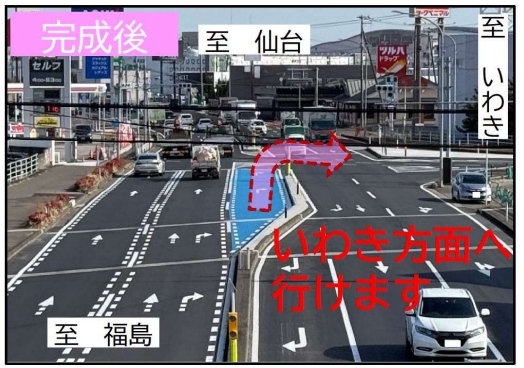
右折レーンの設置

【整備前後の比較】









過年度事業完了箇所における整備効果検証結果

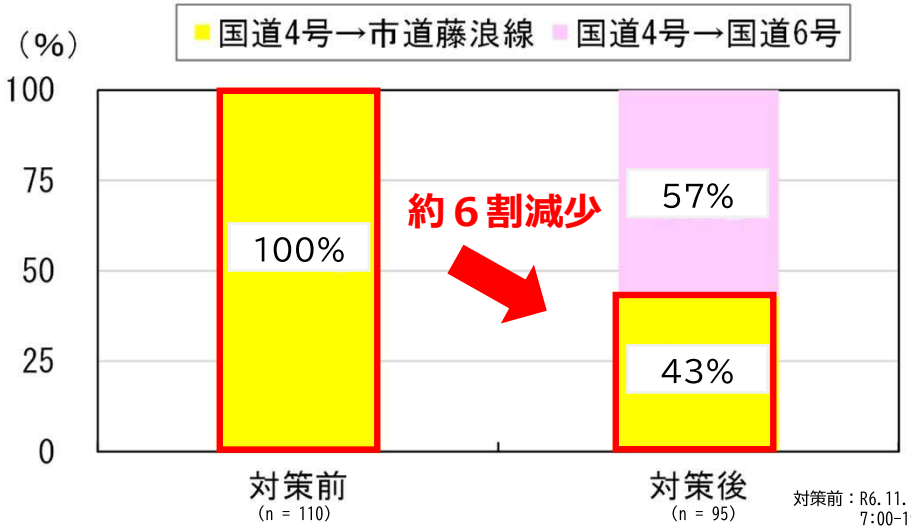
②国道4号　藤浪交差点

【事業の効果】①国道4号から右折して市道を通行する大型車が約6割減少　②道路利用者が対策の有効性を実感

【効果検証】

①国道4号から右折して市道藤浪線を通行する大型車

対策後に国道4号から右折して市道藤浪線を通行する大型車が約6割減少



▲対策前後の大型車の右折車両割合

対策前：R6.11.26(火) 7:00-19:00
対策後：R8. 6. 2(火) 7:00-19:00

②利用者ヒアリング調査

道路利用者が、安全性の向上と対策の有効性を実感

・藤浪交差点に右折レーンが設置されたことで、市道藤浪線を徒歩・自転車で通行する際に大型車の圧迫感が少なくなったと思われる。
・右折ルートが増えたのでスムーズに右折できるようになった。



▲道路利用者の声

出典：道路利用者ヒアリング調査（R8.6実施）

【今後の展開】

・経過観察を行い、引き続き、効果の確認を行う。
・国道4号（福島方面）から国道6号（いわき方面）への右折車両は藤浪交差点を通行するよう、引き続きHPやXで広報を行う。

過年度事業完了箇所における整備効果検証結果

③国道4号　富ケ丘交差点

【位置図】





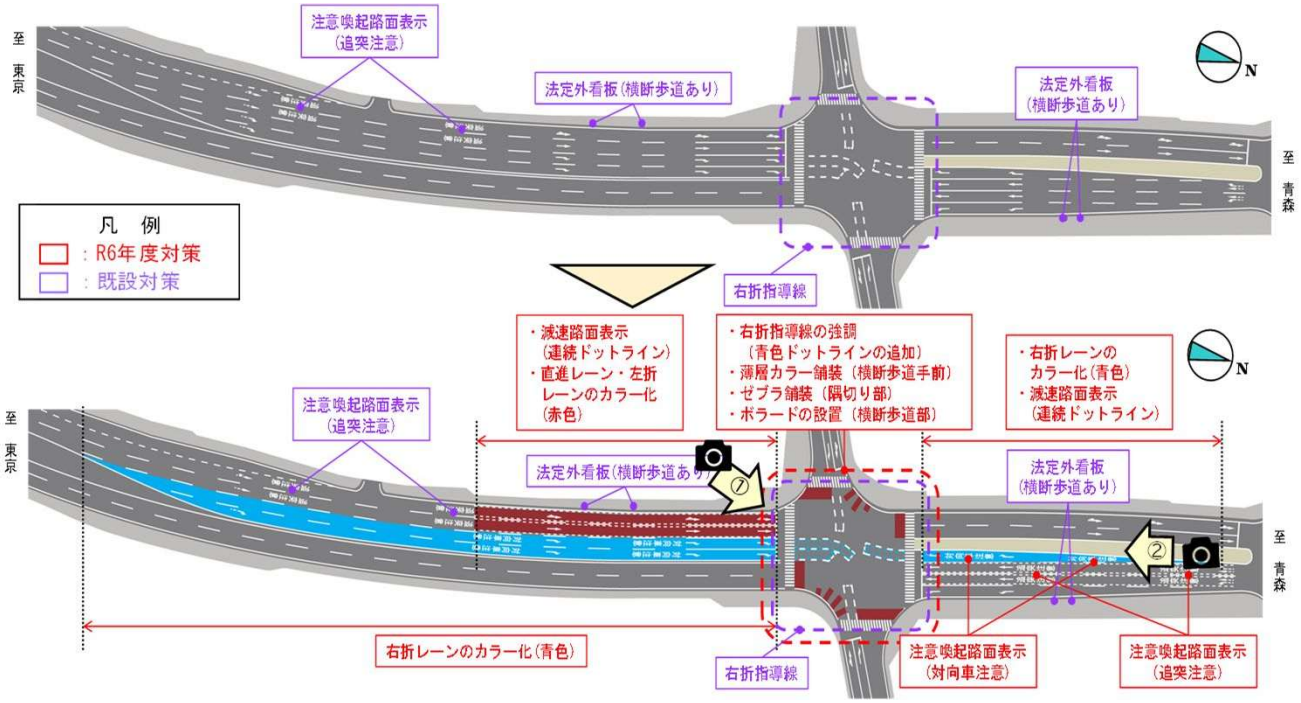
【整備前の課題】

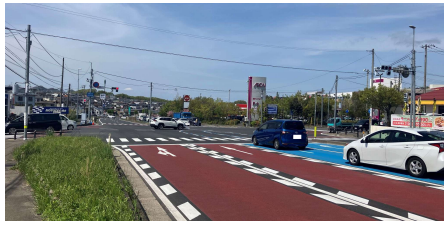
当該交差点において、追突事故・右折時事故・人対車両事故等が発生している。

【対策内容】

交差点流入部のカラー化、右折レーンのカラー化、ゼブラ舗装等の注意喚起対策

【整備前後の比較】





▲①交差点流入部のカラー化



▲②右折レーンのカラー化

過年度事業完了箇所における整備効果検証結果

③国道4号　富ケ丘交差点

【事業の効果】①追突事故は減少傾向　②重大事故は未発生　※全体の事故件数はやや増加傾向

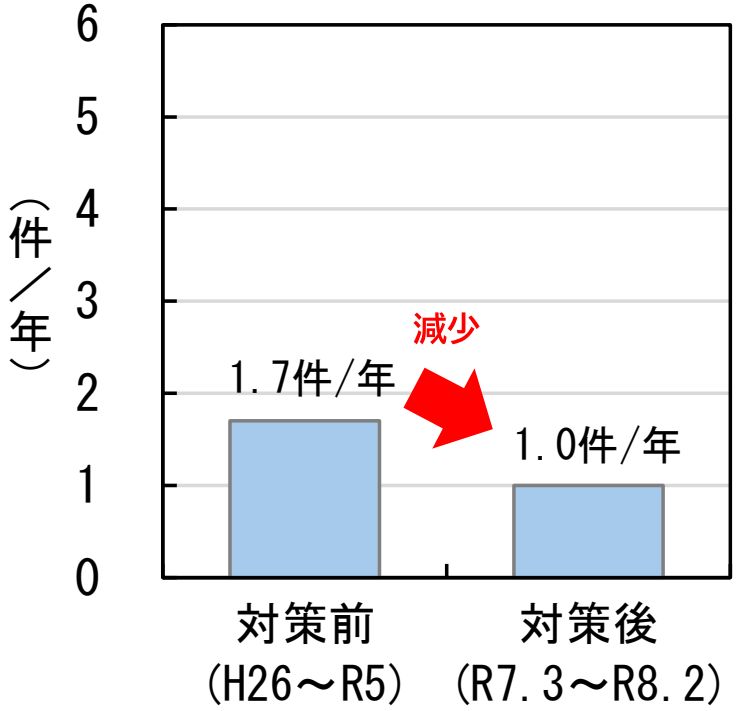
【効果検証】

①死傷事故件数の変化

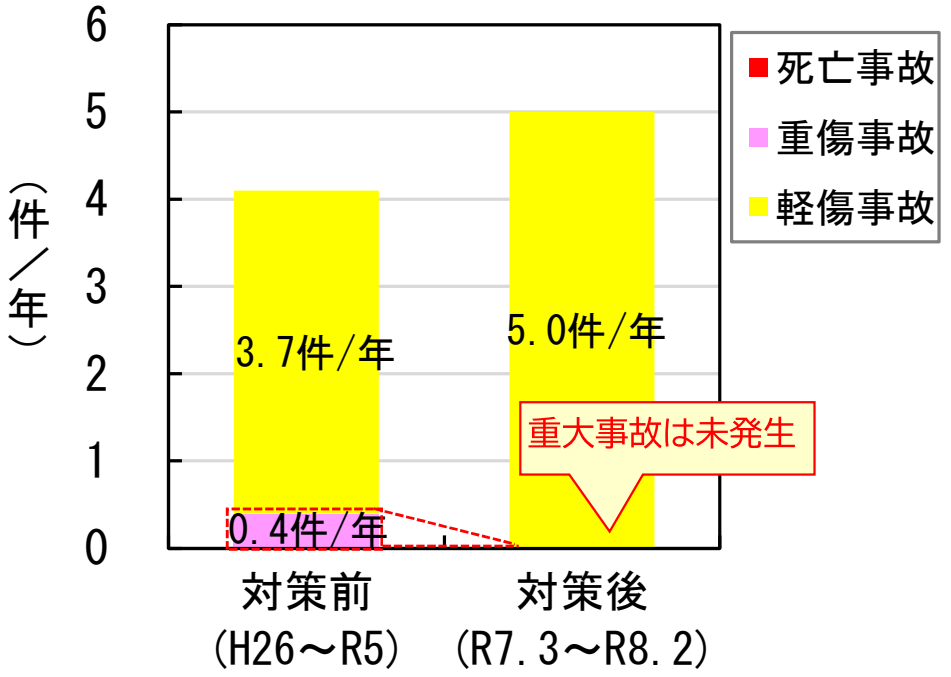
■対策のターゲットの1つである追突事故は減少傾向。

■対策後、重大事故は未発生。

（ただし、全体の事故件数はやや増加傾向）



▲対策前後の追突事故件数



▲対策前後の事故件数

出典：
対策前；イタルダ事故データ（H26～R5）
対策後；県警原票データ（R7.3～R8.2）
集計範囲；対策範囲（364.690kp～365.070kp）

【今後の展開】

増加している事故形態について、引き続き事故発生状況を整理し、
今後追加対策の必要性について検討していく。